

課題研究中間発表会を終えて

2018年12月3日(月)

2年次の総合科学科には全員が受講する科学探究Ⅰという授業があります。この科学探究Ⅰという授業は、4～5人の班に分かれて班ごとに研究テーマを決め、約1年かけて研究に取り組みます。実験や研究自体は夏休み頃から取り組み始め、多くの班は授業という限られた時間の中で研究を行ってきました。また、発表会の前の週はスタディツアーがあり、時間が十分にとれなかった中で、みんなで協力し合いながら要旨やポスターを作成してこの中間発表会に向けた準備を進めてきました。

11月29日、本校の体育館で課題研究中間発表会が行われました。ポスター形式の発表で、2年生の課題研究班30班と、SSHの海外ボルネオ研修班を合わせた31題がこれまでの途中経過や分かったことについて発表しました。昼休みから会場の設営や準備を始め、13時半からついに発表開始です。4時間目は2年生同士の発表が中心です。質問をしながら、お互いの発表を聞く姿がたくさん見られました。5時間目になると、総合科学科の1年生が体育館に集まり、今度は1年生に対する発表が始まりました。1年生は2年生よりも知識が少なく、同学年への説明と同じようにしてはなかなか伝わらないこともあったかと思いますが、頑張って発表をしてくれていました。また、保護者の方や他校の先生方も来てくださり、たくさんの意見交換ができたのではないかと思います。お越しいただいていた大学の先生からの指摘は、やはり鋭いものばかりで、研究内容を見返す良いきっかけになった班もあるでしょう。ポスター発表は、発表を通して意見を交換し、視野を広げることが目的です。2年生のみんなにとって、今回の中間発表会から得るものがあつたことを期待しています。

